

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立柴島中学校	学校	生徒数	37
-----------	----	-----	----

平均値

2年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	25.63	24.53	39.69	45.55		76.31	8.52	170.95	16.88	34.94
大阪市	28.38	26.42	42.74	51.50	422.62	79.76	8.08	194.64	19.84	41.10
全国	28.95	25.94	44.47	51.51	410.69	78.98	7.99	197.18	20.57	41.86
女子	21.48	24.71	48.00	48.82		54.81	9.12	183.56	11.26	49.28
大阪市	22.99	22.21	45.64	45.86	337.57	52.98	9.01	167.01	12.04	47.51
全国	23.18	21.56	46.47	45.65	309.02	50.67	8.96	166.32	12.40	47.37

結果の概要

本年度の体力合計点は男子は全国平均を下回り、女子はわずかに上回った。種目別においては、男子は全種目が全国平均を下回り、女子は「握力」「50m走」「ハンドボール」の3種目が下回った。「運動をすることが好きか」という質問の肯定的回答が、男子は全国平均65.5%に対して本校の生徒は35.5%、女子は全国平均43.2%に対して本校の生徒は47.6%であった。男女ともに半数以上の生徒が運動することに対して肯定的に考えられていない。さらに、一週間の総運動時間が60分未満の割合は男子14.3%、女子25.0%であった。これはどちらも全国平均を上回っている。本校では運動部の生徒は十分な運動時間を確保できているが、それ以外の生徒は運動に親しむ機会に乏しい傾向にあると考える。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体力の低下が顕著にみられる中、体育の授業の中で体力向上の取り組みの在り方が問われている。今年度はこれまで毎時間行っている補強運動に加え、馬跳びや横移動のジャンプ、倒立などを増やし体力の向上に取り組んできたので、来年度の新体力テストで少しでも平均が上がることを期待したい。また、単元の専門的な技能だけでなく、「跳ぶ」「走る」「回る」などの基本動作の習得から取り組んでいく必要がある。補強運動の中で、固定化されたものだけでなく、様々な動作を取り入れ、全体的な運動能力を上げていきたい。また、体つくり運動の単元の授業時数をもっと増やし、遊びの中で仲間とコミュニケーションをとりながら体力の向上を目指すとともに、運動に親しむ態度を養っていく必要がある。とくに今年度の一年生女子は小学校で習得しておきたい馬跳びなどの基本的な動きも9割の子ができる状況であるので、来年度は一人でも多くの生徒がスムーズにできるようにサポートしていきたい。また、補助倒立も日々の補強運動に加えていけるように促していく。